

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	駿台観光&外語ビジネスカレッジ大阪
設置者名	学校法人駿河台学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
外国語専門課程	エアライン学科（2年制）	夜・通信	46 単位 (992 時間)	7 単位 (160 時間)	
	エアライン学科（3年制）	夜・通信	71 単位 (1,040 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ホテル学科（2年制）	夜・通信	69 単位 (1,424 時間)	7 単位 (160 時間)	
	ブライダル学科（2年制）	夜・通信	58 単位 (1,536 時間)	7 単位 (160 時間)	
	観光総合学科（2年制）	夜・通信	92 単位 (1,632 時間)	7 単位 (160 時間)	
	鉄道サービス学科（2年制）	夜・通信	110 単位 (1,568 時間)	7 単位 (160 時間)	
	英語学科（2年制）	夜・通信	11 単位 (192 時間)	7 単位 (160 時間)	
	韓国語学科（韓国語コース）（2年制）	夜・通信	20 単位 (288 時間)	7 単位 (160 時間)	
	韓国語学科（韓国語・英語コース）（2年制）	夜・通信	12 単位 (160 時間)	7 単位 (160 時間)	
	国際ビジネス専科（午前部）（国際マネジメントコース）（2年制）	夜・通信	27 単位	7 単位	
	国際ビジネス専科（午前部）（経営ビジネスコース）（2年制）	夜・通信	80 単位 (1,088 時間)	7 単位 (160 時間)	
	国際ビジネス専科（午後部）（2年制）	夜・通信	80 単位 (952 時間)	7 単位 (160 時間)	

	国際コミュニケーション専 科（午前部）（ホテ ル・ホスピタリティコース） （2年制）	夜・ 通信	67 単位 （782 時間）	7 単位 （160 時間）	
	国際コミュニケーション専 科（午前部） （日中ビジネスコミュニケーショ ンコース） （2年制）	夜・ 通信	17 単位 （357 時間）	7 単位 （160 時間）	
	国際コミュニケーション専 科（午後部） （2年制）	夜・ 通信	65 単位 （748 時間）	7 単位 （160 時間）	
	総合日本語専科 （2年制）	夜・ 通信	5 単位 （102 時間）	7 単位 （160 時間）	※
（備考）（ ） 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している。 ※国際ビジネス専科（午前部）（国際マネジメントコース）については令和 8 年度新設コースです。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/course-subjects_2026.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 総合日本語専科
（困難である理由） 当学科は日本の大学進学・編入を目的とし、日本語能力及び一般教養課程科目を学ぶため、設置科目の担当教員には教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	駿台観光&外語ビジネスカレッジ大阪
設置者名	学校法人駿河台学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 (https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/bmember2026.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士 (2008. 8. 21～)	2019. 4. 1 ～ 2029 年度の 定時評議員 会終結の時	組織運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人役員 (2015. 4. 1～)	2025. 5. 26 ～2029 年度 の定時評議 員会終結の 時	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	駿台観光&外語ビジネスカレッジ大阪
設置者名	学校法人駿河台学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1. 授業計画書(シラバス)の作成 毎年度、教育課程編成委員会等からの意見を参考に、各学科専任教員による授業科目の検証が行われ、決定した授業について各授業担当教員により授業計画書(シラバス)が作成される。 授業計画書(シラバス)は統一書式であり、授業概要、単位数、目標、使用教材、授業計画、成績評価の方法と基準などを記載している。	
2. 公表について 本校学生に対しては、開講後最初の授業で内容の説明をしている。 一般閲覧希望者に対しては、開講後、本校教務課にて公開している。	
授業計画書の公表方法	本校学生には開講後最初の授業で内容説明をしている。 一般閲覧希望者には本校教務課にて閲覧公開している。 また、本校HPに授業計画書の記載内容や来校による閲覧について公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/lesson-plan.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業の単位認定については、学生ハンドブックに記載している。 単位認定：前期・後期それぞれにおいて75%以上の出席率が必要かつ前期・後期それぞれの成績評価に基づいて、C評定(60点以上)の科目を認定する。成績評価基準は、授業計画書(シラバス)において「試験」「課題提出」「授業態度」等に分けて基準を示している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 評価は、定期試験に平常点を加えた評価点(100点方式)をもって評価し、成績評価は、S・A・B・C・Fで表し、S・A・B・Cが合格となる。 【定期試験】 90点以上 S評価 80～89点 A評価 70～79点 B評価 60～69点 C評価 60点未満 F評価(不合格) 【再試験】(定期試験で不合格) 70点以上 C評価 70点未満 F評価(不合格) 成績評価については、学生ハンドブックに記載している。 これらをGPAとして数値化する場合 各成績はS評価(4点)、A評価(3点)、B評価(2点)、C評価(1点)として換算し、各学生が履修した科目の合計値を履修した総科目数で除して得た平均値とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本校学生には学生ハンドブックで公開。 一般には本校HPに成績評価について公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/grade.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業要件については、学生ハンドブックに記載している。 所定の学費を指定期日までに完納しており、各学科が設定した科目の履修と卒業必要単位数を修得し、その課程を修了した学生には卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校学生には学生ハンドブックで公開。 一般には本校HPに卒業の認定について公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/graduate.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	駿台観光&外語ビジネスカレッジ大阪
設置者名	学校法人駿河台学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/freport2025.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	エアライン学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	109 単位 (1296 時 間)	16 単位 (384 時 間)	55 単位 (720 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)	
			180 単位 (2400 時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
40 人		6 人	0 人	3 人	20 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (66.7%)	1 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 空港サービス関連会社、医療・介護分野			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、マナー・プロトコル検定、サービス接客検定、コミュニケーション検定、秘書検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	エアライン学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2592 時間	848 時間	96 時間	704 時間	0 時間	0 時間	
			1648 時間					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人		1 人	0 人	3 人	15 人	18 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	5 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等）空港サービス関連会社			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、マナー・プロトコル検定、サービス接遇検定、コミュニケーション検定、秘書検定			
（備考）（任意記載事項）当学科は、令和6年度の入学生をもって以降の募集を停止しているため、全課程の修了に必要な総単位数欄には単位時間を、開設している授業の種類には学生が在籍している学年分の単位時間を記載している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	ホテル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	92 単位 (1376 時間)	3 単位 (96 時間)	32 単位 (592 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (時間)
			127 単位 (2064 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		4 人	0 人	4 人	27 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要）英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	4 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、マナー・プロトコル検定、サービス接遇検定、コミュニケーションマナー検定、日商 PC 検定、ホテルビジネス検定、レストランサービス技能検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	ブライダル学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	73 単位 (1024 時 間)	3 単位 (48 時間)	47 単位 (816 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			123 単位 (1888 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		3 人	0 人	2 人	21 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）企業インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) マナー・プロトコル検定、サービス接遇検定、日商 PC 検定、秘書検定、パーソナルカラー検定、ブライダルコーディネート技能検定、日本ウェディングスタイリスト認定資格他			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.7%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	観光総合学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	90 単位 (1440 時 間)	26 単位 (128 時 間)	20 単位 (480 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)	
			136 単位 (2048 時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
40 人		12 人	3 人	5 人	18 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 鉄道業界、旅行業界、セキュリティ業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）企業インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) サービス接客検定、コミュニケーションマネー検定、旅行地理検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	鉄道サービス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	116 単位 (1024 時 間)	6 単位 (448 時 間)	18 単位 (512 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)	
			140 単位 (1984 時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		25 人	0 人	4 人	18 人		22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	20 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 鉄道業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）企業インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) サービス接客検定、コミュニケーションマネー検定、旅行地理検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	英語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	108 単位 (1248 時間)	16 単位 (416 時間)	72 単位 (416 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			196 単位 (2080 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		12 人	0 人	4 人	16 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要）英語の授業は、他学科生と合同でレベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 空港サービス関連会社			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、コミュニケーション検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	1 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	韓国語学科 (韓国語コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	178 単位 (1776 時間)	0 単位 (0 時間)	83 単位 (64 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			261 単位 (1840 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数 90 人		35 人	0 人	2 人	29 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）韓国語の授業は、レベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18 人 (100.0%)	3 人 (16.7%)	11 人 (61.1%)	4 人 (22.2%)
(主な就職、業界等) ホテル、空港サービス関連会社、美容業界、人材サービス			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) ハングル能力検定、TOEIC、サービス接遇検定、日商 PC 検定、秘書検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	2 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	韓国語学科 (韓国語・英語コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1728 時間)	196 単位 (2032 時間)	0 単位 (0 時間)	103 単位 (64 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			299 単位 (2096 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数 30 人		18 人	0 人	4 人	28 人	32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）韓国語の授業は、レベル別クラス編成を行い、学生の理解度に応じた教材・進度で実施している。進路指導については担任が定期的に面談を行い、特に就職希望者には、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100.0%)	3 人 (37.5%)	3 人 (37.5%)	2 人 (25.0%)
(主な就職、業界等) ホテル、空港サービス関連会社			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、メイク・スーツセミナー、業界セミナー、内定者座談会、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) ハングル能力検定、TOEIC、サービス接遇検定、日商 PC 検定、秘書検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	1 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	国際ビジネス専科（午前部） （国際マネジメントコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年		62 単位	25 単位	60 単位	14 単位	0 単位	0 単位
	昼		99 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
170 人の内数 30 人		26 人	26 人	3 人	21 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、スーツセミナー、業界セミナー、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）2026 年度新設コースのため、「開設している授業の種類」欄には学生が在籍している学年において開設している授業について計上している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	国際ビジネス専科（午前部） （経営ビジネスコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位 (1700 時間)	59 単位 (680 時 間)	118 単位 (680 時 間)	42 単位 (340 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			219 単位 (1700 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
170 人の内数 140 人		136 人	136 人	3 人	33 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
73 人 (100.0%)	5 人 (6.8%)	66 人 (90.5%)	2 人 (2.7%)
（主な就職、業界等）ホテル業界、小売業界、卸売業界、人材サービス、飲食業界、旅行業界、空港業界、自動車業界、住宅・不動産業界、倉庫・運輸・物流業界、宝飾・貴金属業界			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、スーツセミナー、業界セミナー、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、サービス接遇検定、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験、キータッチ 2000			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
155 人	5 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	国際ビジネス専科（午後部）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1700 時間)	56 単位 (816 時 間)	116 単位 (680 時 間)	30 単位 (204 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			202 単位 (1700 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		60 人	60 人	5 人	27 人	32 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100.0%)	1 人 (4.0%)	22 人 (88.0%)	2 人 (8.0%)
（主な就職、業界等）自動車業界、不動産業界、飲食業界、卸売業界、小売業界、セキュリティ業界、製造業、情報・通信業、倉庫・運輸関連業、鉄道業界			
（就職指導内容）企業研究指導、自己分析・自己表現指導、スーツセミナー、業界セミナー、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、サービス接遇検定、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	1 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程		国際コミュニケーション専科(午前部) (ホテル・ホスピタリティコース)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
	54 単位 (578 時間)		124 単位 (867 時間)	24 単位 (255 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)			
2 年	昼	62 単位 (1700 時間)	202 単位 (1700 時間)						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
140 人の内数 120 人		117 人	117 人		8 人		32 人		40 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55 人 (100%)	2 人 (3.6%)	46 人 (83.7%)	7 人 (12.7%)
(主な就職、業界等) ホテル業界、小売業界、飲食業界、住宅・不動産業界、人材サービス業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、スーツセミナー、業界セミナー、学内企業説明会開催、個別指導 (履歴書添削・面接)			
(主な学修成果 (資格・検定等)) TOEIC、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
114 人	2 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	国際コミュニケーション専科(午前部) (日中ビジネスコミュニケーションコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位 (1700 時間)	53 単位 (884 時間)	126 単位 (612 時間)	12 単位 (204 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			191 単位 (1700 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人の内数 20 人		17 人	16 人	3 人	21 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界、卸売業、製造業、物流業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語専門課程	国際コミュニケーション専科 (午後部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1700 時間)	51 単位 (510 時 間)	112 単位 (935 時 間)	24 単位 (255 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
			187 単位 (1700 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		113 人	112 人	6 人	33 人	39 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）担任による定期的な個人面談を通して、学習状況、授業理解度をチェックし適宜、個別対応している。就職指導については担任が定期的に面談を行い、就職課と連携して早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
53 人 (100%)	5 人 (9.4%)	47 人 (88.7%)	1 人 (1.9%)
(主な就職、業界等) ホテル業界、小売業界、卸売業界、人材サービス業界、飲食業界、旅行業界			
(就職指導内容) 企業研究指導、自己分析・自己表現指導、スーツセミナー、業界セミナー、学内企業説明会開催、個別指導（履歴書添削・面接）			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験、キータッチ 2000			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107 人	1 人	0.9%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		外国語専門課程	総合日本語専科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1700 時間)	41 単位 (306 時 間)	108 単位 (1258 時 間)	14 単位 (136 時 間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)	
			163 単位 (1700 時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
40 人		27 人	27 人	2 人	20 人		22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）大学進学・編入を目標とし、日本語能力評価試験、日本語能力試験、日本留学試験などの試験演習も行い、日本語能力を養成している。担任が大学選び・準備などの進学指導を行い、早期からサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) コンサルティング・人材サービス業界			
(就職指導内容) 大学進学・編入に向けて学んだ知識を活用できる職業選択の指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、日商 PC 検定、グローバル人材ビジネス実務検定、日本語能力評価試験、キタツチ 2000			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	2 人	13.3%
(中途退学の主な理由) 大学進学		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任との個別面談、心理カウンセラー制度		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
エアライン学科 [2 年制・3 年制]	100,000 円	1,070,000 円	330,000 円	その他は 施設費、教育行事費
ホテル学科	100,000 円	1,070,000 円	290,000 円	同上
ブライダル学科	100,000 円	1,070,000 円	335,000 円	同上
観光総合学科	100,000 円	1,070,000 円	310,000 円	同上
鉄道サービス学科	100,000 円	1,070,000 円	280,000 円	同上
英語学科	100,000 円	1,000,000 円	270,000 円	同上
韓国語学科	100,000 円	1,000,000 円	270,000 円	同上
国際ビジネス専科(午前部)	100,000 円	595,000 円	170,000 円	同上
国際ビジネス専科(午後部)	100,000 円	595,000 円	170,000 円	同上
国際コミュニケーション専科(午前部)	100,000 円	595,000 円	170,000 円	同上
国際コミュニケーション専科(午後部)	100,000 円	595,000 円	170,000 円	同上
総合日本語専科	100,000 円	595,000 円	170,000 円	同上
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP に公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/2025-self-assessment.pdf		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連企業、教育関連関係者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 この評価を活用し、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
鉄道会社 役員	2023. 5. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
航空運輸会社 役員	2022. 10. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
ホテル 副支配人	2022. 10. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	卒業生委員
学校法人 理事長	2022. 10. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	高校等委員
大学 教員	2024. 4. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	高校等委員
大学 教員	2022. 10. 1～2028. 3. 31 (任期更新)	高校等委員

大学 教員	2025. 8. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	高校等委員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP に公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/pdf/2025-stakeholder-assessment.pdf		
(備考) 第三者評価は未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校 HP に公開している。 https://www.kanko-gaigo.ac.jp/disclosure/
--